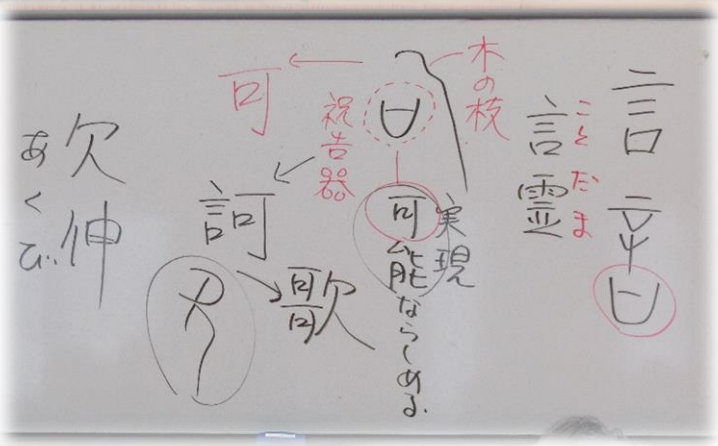
第5回橘ときめき大学

「漢字」の豊かな世界・2
ー「音楽」と「歌謡」ー

第5回講座は福島大学 人間発達文化学類 教授 澁澤　尚 氏を講師に昨年に引き続き「漢字の豊かな世界について」ご講義いただきました。

前回は殷王朝における祭政一致で、神々との交信記録を記すために漢字が生まれたことを学習しましたが、今回は神々に伺いを立てる中で神の近づく気配や音が神の気持ちであること、また神に誓ったり、願ったり、祈ったりする言葉により威力を持たせるために抑揚・声調・律動をつけたものが「歌」の原質であることを学びました。さらには「音」「言」「聖」「賢」「暗」「闇」「楽」「歌謡」の字のつくりや意味などについてわかりやすく解説いただきました。加えて紀元前5世紀（2500年前）に埋葬された曾侯乙（ソウユウイツ）の墓から発掘された楽器である編鐘（へんしょう）と編磬（へんけい）の大変興味深い復元音も聞かせていただきました。